

2023年11月14日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社  
アマタホールディングス株式会社

**三井住友ファイナンス&リースとアマタホールディングスが  
「廃棄物マネジメントサービス領域での連携に関する基本合意書」を締結**

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）とアマタホールディングス株式会社（代表取締役社長：末次 貴英、以下「アマタ HD」）は、廃棄物マネジメントサービス領域における協業を推進する目的で「廃棄物マネジメントサービス領域での連携に関する基本合意書」を締結したことをお知らせします。

<本合意の背景>

コンプライアンスが特に重視されてきた廃棄物管理市場は大きな変革期を迎えており、①労働人口の減少に伴う業務のアウトソーシングと②Scope3<sup>(※1)</sup>や DPP<sup>(※2)</sup>をはじめとした脱炭素・サーキュラーエコノミー時代におけるデジタル情報活用というニーズが顕在化しています。

SMFLとアマタ HD の事業子会社であるアマタ株式会社（以下「アマタ」）は、いずれも産業廃棄物の電子マニフェストなどを含む廃棄物マネジメントシステム<sup>(※3)</sup>を提供しており、上場企業や製造業に多く導入されています。また、アマタは廃棄物管理 BPO<sup>(※4)</sup>サービスを提供しています。

<本合意の企図>

両社がそれぞれの強みを活かして連携し、同種業務の協働検討および付随するサーキュラーエコノミーを支援する新サービスの共同開発を推進することで、国内事業者のニーズに応えることを目指します。具体的には、廃棄物マネジメントシステムの営業面での協働、運用・システム・サポート面での連携とサービスの向上、アマタが提供している廃棄物管理 BPO サービスの幅広い企業への提供拡大および将来的なニーズに即した新サービスの共同開発と提供について検討します。

<本合意の内容>

- 廃棄物マネジメントシステムの協業に関する検討
- 廃棄物マネジメント BPO の提供拡大に関する検討
- 時代に即した新サービスの共同開発に関する検討

SMFL は、経営理念・経営方針を示す「SMFL Way」の Our Vision（私たちの目指す姿）の一つとして「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げ、SDGs 達成を支援するさまざまなサービスを提供しています。“幅広い金融機能を持つ事業会社の強みを追求し、社会課題の解決に挑戦”をテーマに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを推進していきます。

アミタ HD は、「作れば作るほど、売れば売るほど、働けば働くほど、生きれば生きるほど、自然資本と人間関係資本が増加する持続可能社会」の実現を掲げ、企業経営の持続性を高めるための移行戦略支援サービスを提供しています。本合意を通じて、企業の移行戦略を支えるオペレーションと基盤の強化に向けた取り組みを推進していきます。

#### ※1 Scope3

自社の事業活動に関連する他社（サプライチェーン）の温室効果ガス排出量。

#### ※2 DPP

デジタル製品パスポート（Digital Product Passport）のこと。欧州で法制化が進む製品のライフサイクルに沿ったサステナビリティ情報（再生材含有率、CO2 排出量、リサイクル情報など）を共有する仕組み。国内でも導入が進む見込み。

#### ※3 アミタ「Smart マネジメント」

<https://www.amita-net.co.jp/solution-operation/smart-eco/management.html>

SMFL「排出物遵法管理サービス」

<https://www.smfl.co.jp/service/support/pbasis/>

#### ※4 BPO

ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略。企業活動における業務プロセスの一部について、一括して専門事業者へ外部委託すること。

以上

#### 【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 山本 TEL 03-5219-6334

アミタホールディングス株式会社 広報担当 古城、駒井 TEL 075-277-0795

メール [press@amita-net.co.jp](mailto:press@amita-net.co.jp)